

# 学生リーダー塾HILS

～次世代を担う若者のリーダー育成～



学生リーダー塾HILS理事長 金井 加代子

学生リーダー塾HILSは、平成24年8月に発足した、大学生主体の社会貢献事業を行う団体である。この団体では、大学生自らが組織づくりや社会貢献事業の企画運営等を行う。そうした実践的な経験を積むことで、大学生は社会人基礎力を身に付けることができる。このような取り組みは、社会への出口教育の一つのモデルといえる。ここでは、学生リーダー塾HILSの設立経緯や実際の活動状況を紹介したい。



学生リーダー塾HILSによる被災地スタディツアー

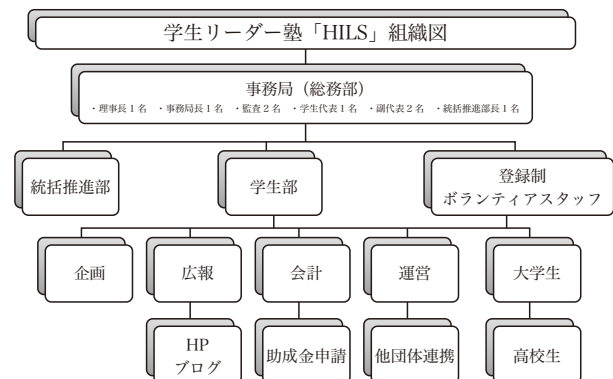
## 学生リーダー塾HILSの設立経緯と概要

私は、キャリアカウンセラーとして若者の就業支援に長年携わってきた中で、意欲のない大学生を変容させるきっかけ作りと、リーダー育成プログラム作りの必要性を常々感じていたことから、この「学生リーダー塾HILS」を立ち上げた。団体名の由来は、次のとおりである。

Human	これからの社会を担う世代が
Innovation	革命を起こして
Leaders	積極的にアプローチし
Ship	社会を動かすリーダーとなる。

HILSでは、リーダーとなる人材を育成するため、大学生には関心のある事業分野の活動に参加してもらい、その活動の企画・運営・実施報告・検証までの一連のプロジェクトについて、学生自身の責任のもとに進めていく。学業と組織の活動・運営の両立で大学生にとっての負担は大きいですが、やらざるを得ない状況に自ら身を投じることで、自己管理(健康管理・スケジュール管理)の重要性に気付き、自ら考えて行動する力が培われる。

また、大学生は組織の仕組みづくりから運営まで主体的に行う。各セクションにはサポート役として専門知識を有する社会人が付き、大学生の指導・支援・評価にあたっている。



## 学生リーダー塾HILSの活動状況

学生リーダー塾HILSの主な活動内容は、以下のとおりである。

### (1)被災地スタディツアー

このスタディツアーは、被災地でのボランティア活動を通して神奈川での防災意識を高めるとともに、社会貢献できる人材育成を目的としたもの

であり、設立当初から行なっている事業である。

今年も被災地である気仙沼へ行き、現場・現状の確認や地元ボランティア団体との打合せなど、企画立案から学生自身で行なった。企画完成後、神奈川県内の各県立高校に出向いて、団体の活動趣旨と今回のスタディツアーの企画内容の説明を行い、高校生に参加を呼びかけ、8月にツアーを実施した。ツアー終了後には、大学生企画の「気仙沼スタディツアー報告会2013」を行なった。(報告会の様子については、次頁参照)

## (2) インターンシップ事業 (神奈川と福島を繋ぐ就業体験)

このインターンシップ事業は、東日本大震災の発生以降、インターンシップ等の体験学習や就業機会を失った高校生を支援するために始まった事業である。HILSのメンバーは、神奈川県内の企業を開拓し、就業体験内容のコーディネートや事前・事後研修の企画・立案を行う。

今年も、下記の内容でインターンシップを実施した。

<学生リーダー塾HILSが行うインターンシップの概要>

実習期間 : 平成25年7月20日(土)~24日(水)4泊5日

[就業体験]22日(月)~24日(水)3日間

実施目的 : 参加生徒の自立と自信、福島の復興再建を考える、企業を知り就労を体験する、神奈川の高校生との交流

参加校 : 福島県立相馬農業高校飯館校

参加学年 : 1年生・2年生(約20名)

引率教員2名

宿泊先 : 鎌倉市建長寺

受入企業 : 神奈川県内20社

事前研修会 : 平成25年7月21日(金)鎌倉建長寺にて

報告会 : 平成25年7月24日(水)各企業にて

## (3) ボランティア塾

前出の被災地スタディツアーで、学生が見てきたもの・感じてきたものを神奈川県内の高校生に伝

えることで防災意識を高めたい。その上で、学生一人ひとりが、「自分たちにできることは何か」、「社会に出ていく上で必要な力とは何か」について考える機会をつくりたい。そうしたHILSのメンバーの思いから、「ボランティア塾」として、高校生を対象とした講演会を行っている。

去年は、県立鶴嶺高校、県立茅ヶ崎西浜高校、県立座間高校の3つの高校で講演会を行った。

[県立鶴嶺高校]

学生リーダー塾HILS以外にも様々な分野の団体が参加しており、高校生は話を聞きたい団体に割り振られて授業を行う形式であった。20名ほどの生徒を相手に、クイズ形式を取り入れ参加型にしたり、ビデオを取り入れたりと、50分の中でどうしたら高校生に聞き入ってもらえるか、工夫して取り組んだ。当日は緊張しながらも一人ひとりと目が合い、高校生が聞き入ってくれていたのを実感することができた。

[県立茅ヶ崎西浜高校]

ここでは、2週連続でそれぞれ違う高校生を相手に計2回の講演会を行った。鶴嶺高校と同様な形式で、両日とも20名程の高校生を相手に説明を行った。一見あまり興味を示さなかった高校生も、話が始めると全員の視線が話者に釘付けになり、クイズにも積極的に手を挙げて参加していた。後日、同世代の大学生が話すことにより、ボランティアのイメージが変わり関心が高まったという感想を得た。

[県立座間高校]

人権研修と称して、1・2年生、総勢560人を対象に講演会を行った。この講演会は、改めて東日本大震災のことを考える機会とし、福島県出身の方の被災体験や今なお続く避難生活の苦悩を聞く時間を設けた。HILSのメンバーの一人が、HILSでの体験の中から進路を決定し、第一希望であった消防士の内定をもらえた話をすると、会場から自然と大きな拍手が湧き起こった。

# 学生リーダー塾HILS 気仙沼スタディツアー 2013 報告会

被災地スタディツアーは平成24年8月にスタートし、今年で2回目となる。今年は8月8日～8月11日の3泊4日で実施した。また、このツアーの振り返りとして、大学生、高校生一人ひとりがどのようなことを学び感じたか、を発表する報告会を行っている。

ここでは8月24日(土)に開催された報告会において、ツアーを通して感じたこと、またリーダー育成に対する考えについて、学生の発言をいくつか紹介したい。

- ・2日目に訪問したリアスアーク美術館で印象に残っていることが二つある。一つは、震災で亡くなられた方の霊の話をすることが笑いとなること。時間の経過とともに犠牲者との距離が広がっていることを実感した。もう一つは被災地が観光地化していること。観光と呼ぶには不謹慎ではないかとの疑問があったが、現地の方は、被災地を訪れて体感してもらうことが復興につながる話をしており、複雑な思いであった。
- ・地元ボランティア団体の話を聞き、仮設住宅に入居した被災者が孤立化し、自殺に追い込まれる現状を知った。地域でのコミュニケーションを積極的に図り、つながりを深める必要があると感じた。
- ・被災地のことを風化させないために、このツアーで体験したことを周囲に伝えていくことが大切だと感じた。また、その伝え方にも工夫が必要だと感じた。
- ・風化することは必然だと思う。こうした報告会を通して体験を記憶として自分の中に残し、それを踏まえて、これからどう生きていくべきか一人ひとりが考えることが大切である。

・高校生のコミュニケーション能力を高めるために積極的に発言させる機会を作ったり、一人ひとりの立ち位置や役割を認識させるような環境づくりに徹した。高校生は日を追うごとに率先して行動するようになり、期待以上の成長を垣間見ることができた。

気仙沼スタディツアー タイムスケジュール

8月8日	8月9日	8月10日	8月11日
《4日間過ごす仲間と仲良くなる》	《東日本大震災を肌で感じる》	《自ら考え、自ら行動》	《学んだことを形にしよう》
9:00 横浜駅集合	5:30 大学生起床 朝食準備	5:30 大学生起床 朝食準備	5:30 大学生起床 朝食準備
9:30 横浜駅天理ビル出発	6:00 高校生起床 朝食 ミーティング	6:00 高校生起床 朝食 ミーティング	6:00 高校生起床 朝食 ミーティング
11:00 【昼食休憩】蓮田SA	7:10 片づけ 出発準備	7:10 出発	6:50 片づけ 掃除・荷物まとめ
11:40 出発	8:20 出発	8:10 【ボランティア活動】気仙沼復興協会	8:30 報告会開始
14:20 【休憩】安達太良SA	9:30 地福寺 到着 講演	13:30 出発	10:45 掃除 荷物積み込み
14:40 出発	11:30 出発	14:00 寺谷コミュニティーセンター ミーティング	12:00 出発
16:40 【夕食休憩】長者原SA	12:30 南三陸さんさん商店街	16:00 出発	13:30 【昼食休憩】長者原SA
17:20 出発	14:00 出発	17:00 気仙沼港まつり	14:30 出発
18:40 【備品調達・夕食購入】 フードパワーセンターバ リュウ千歳店	15:15 リアスアーク美術館	18:00 千歳みなみ交流センター 到着	16:30 【休憩】安達太良SA
19:20 千歳みなみ交流センター 到着 荷物運び、説明	17:00 出発	18:30 夕食 お風呂・片づけ	19:30 【夕食休憩】蓮田SA
21:00 ミーティング 1日目のまとめ・2日目の 行程確認	18:00 ミーティング 三浦様 講演	19:00 出発	20:30 出発
21:30 就寝準備	20:30 千歳みなみ交流センター 到着 お風呂・片づけ	20:00 千歳みなみ交流センター 到着 お風呂・片づけ	21:30 交流会
22:30 就寝	21:30 交流会	21:30 交流会	22:30 横浜駅天理ビル到着
	22:00 就寝	23:00 就寝	

